

日時：2009年10月13日午後2時～2時45分

参加者：

中谷・黒田・大橋・三代木・三尾・森脇（宇宙線研柏），
中村・安東（京大），
鈴木（KEK），
辰巳・高橋（竜）・佐藤（天文台），
坪野・麻生（東大理），
神田（大阪市大），
宮川・山本・新井（Skype）。

議事内容：

－ GWIC 報告（黒田）

Caltech での GWIC 会議に出席した。ロードマップ作りが主な議題。

LCGT については、今後も概算要求を続けることを説明した。

日本の天文学のコミュニティでは LCGT は優先度が高く好意的に受け入れられていることを説明。OECD の Global Science Forum で宇宙物理関連のプロジェクトのロードマップと順位付けに向けた検討が進んでいる。次回のボンベイの会議では GWIC 議長と LIGO の Jay Marx、日本から黒田が参加することになった。

－ 科研費申請（三尾）

研究計画，5つの柱をたてて内容を策定中。11月2日に計画書を提出の予定。ご協力を乞いたい。

－ 概算要求の状況（黒田）

11月に face to face の会合を行う予定。アンケートの結果 11月10日（火曜）14:00 になりそう。柏宇宙線研で開催。PD や院生にもオブザーバーとしての参加を認める。

－ 特別作業班のレビュー報告：SPI（麻生）

Stan Whitcomb 氏からコメントが戻ってきた。SPI なしで LCGT を進めるという結論は支持であった。代替技術をしっかりすすめることを促す内容。例えば

「ヒートリンクのバネ定数の見積りで有限要素計算をすべき」など。その他、「サスペンション RMS 100um 以下という数字の根拠を知りたい」等の質問が来ている。10月29日の二週間後くらいを返答の締め切りとしたい。SPI 用に1000mm に拡張した真空ダクトの直径を 600mm に戻す話もあり、コスト削減にも関係してくるが、将来の LCGT の拡張で完全に SPI 導入をしないと決定したわけではないので、いまのところ直径 1000mm のままにしてある。

SPI 用に設けたメインビームのダクト中心からのオフセットについても、散乱光雑音についての試算から、オフセットを残したままにしても悪影響はないという結果になっており、そのままとしている。

- デジタル制御 (宮川)

今日成田に到着する予定。当初は柏に届き、その後調整のため10月一杯はNAOに移すので、興味のある方は見に来てほしい。

- 2010年の国際会議

5月16-21日に京都でGWADWが開催予定。国内開催なのでLCGT関係の講演に重点が置かれたプログラムが検討されている。7月5-9日にGR19がメキシコで開催予定。